

授業科目	国際政治学演習
演習題目	データから見る国際政治
担当教員	大賀 哲
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「データ」とは一般に、統計データなど数値形式で表現される定量的データと、テキストや観察記録のような数値化しない情報を含む定性的データに分類されます。この授業では、定量的データと定性的データを分析するための方法を学び、データに即して分析・解釈・判断ができるスキルを修得します。</li> <li>● 具体的には、Python, HAD, KH Coder などのツールを使用して分析を進めていきます（履修の段階でプログラミングや統計の前提知識は必要ありません）。</li> <li>● データ分析のためには「実際に手を動かす」ことが重要だと思っていますので、教科書をまとめて発表する形式の授業は少ないです。授業の主要な焦点はデータの分析と解釈に置かれます。</li> <li>● 例えば、メディアや行政が報じる統計情報は、分析が未完成であったり、誤りを含んだり、特定の部分を過剰に強調することで誤解を招くことが多いです。そうした誤解を招くデータを正しく評価する能力を養うことも、この授業の目的の一つです。</li> <li>● この国際政治学演習では、最初は日本語のデータソースから始め、慣れてきたら世界銀行や国連のデータセットを使用して分析を行うことを目指します。</li> </ul>
履修条件	とくにありません。国際政治学Ⅰ・Ⅱを合わせて受講することが望ましいです。
教科書・参考書	佐藤郁哉『社会調査の考え方』（上）（下） 東大出版  参考： HAD <a href="https://norimune.net/had">https://norimune.net/had</a> KH Coder <a href="https://kncoder.net/">https://kncoder.net/</a>
授業の計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期は教科書の輪読や調査法の修得を行います。</li> <li>● 後期はそれぞれのテーマごとにリサーチを進めていきます。</li> </ul>
成績評価の方法	受講生ごとにテーマを決めて、リサーチを行い、最終成果をゼミ内で発表してもらいます。成績は最終プレゼンによって評価します。